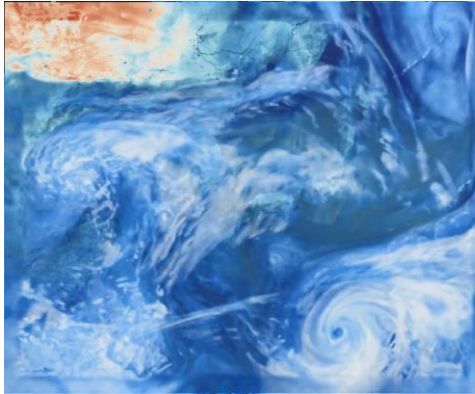


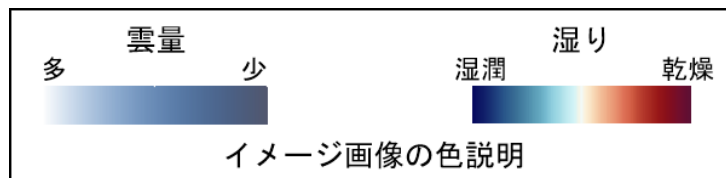
「イメージャ」、「赤外サウンダ」による観測のイメージ動画の説明



イメージャによる観測(2次元)のイメージ画像



赤外サウンダによる観測(3次元)のイメージ画像



現行の静止気象衛星ひまわり8号・9号に搭載されている観測センサの「イメージャ」では、大気状態をほぼ平面として観測していますが、「中間とりまとめ」で次期静止気象衛星への搭載を検討すべきと提言いただいた観測センサの「赤外サウンダ」では、立体的な大気状態を観測することが可能となります。

2つの動画は「イメージャ」と「赤外サウンダ」による観測をイメージしたものです。

大気状態を立体的に観測できるようになることで、数値予報で使用できる観測データが大幅に増え、特に洋上での水蒸気の状態を把握でき、線状降水帯の予測精度の大幅な向上が期待できます。